



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 克裕
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 茂路 岳廣 TEL 03-6661-7840
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	5,090	3.1	232	△0.4	239	△2.0	177	16.9
2025年9月期第1四半期	4,936	17.4	233	73.9	244	65.1	151	43.1

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 191百万円 (11.5%) 2025年9月期第1四半期 171百万円 (81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	35.86	—
2025年9月期第1四半期	30.29	30.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	6,618	3,129	47.3
2025年9月期	6,317	3,089	48.9

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 3,129百万円 2025年9月期 3,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	15.00	—	30.00	45.00
2026年9月期	—				
2026年9月期（予想）		15.00	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,450	5.7	515	0.4	515	△2.9	320	5.7	63.98
通期	20,200	3.6	800	11.5	800	7.8	590	0.5	117.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期1Q	5,285,600株	2025年9月期	5,285,600株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	324,708株	2025年9月期	350,008株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期1Q	4,939,442株	2025年9月期1Q	4,999,614株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式 (2026年9月期1Q 125,600株、2025年9月期末125,600株) が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2026年9月期1Q 125,600株、2025年9月期1Q 125,600株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている今後の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用あたったの注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的リスクの高まりや原材料・労務費の高騰、米国の関税政策の影響など先行き不透明な状況が続く中、企業努力や各種政策の効果もあり、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかに回復してまいりました。一部海外団体客の訪日インバウンド動向が懸念材料となるものの、観光業界の依然とした好況により堅調に推移しております。

このような環境下において当社グループは、前年度から第5期となる新たな3ヵ年中長期経営計画をスタート、2024年12月には「2025-27中期経営計画 “Go Beyond! Next20”」を発表いたしました。2027年9月期の連結業績目標を売上高270億円、営業利益9.5億円、ROE15%以上とし、『資本効率を高める投資の強化』をテーマに、事業開発戦略として、既存事業組織における基盤強化と収益力の向上と、新たな提供価値の創造をミッションとするXvalueユニットの活動を、相互に関係しながらも独立して二軸で成果を追求することを掲げています。

2年目のスタートとなるこの第1四半期は、各事業セグメントを取り巻く収益環境が厳しくなっていく中、総じて計画通りの推移となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は5,090百万円（前年同期比3.1%増）、連結営業利益は232百万円（前年同期比0.4%減）、連結経常利益は239百万円（前年同期比2.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は177百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

続きまして、当連結会計年度におけるセグメント別の業況は次のとおりです。

① スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストラン・テーマパークを主たるお客様として、食器洗浄をはじめとする厨房管理業務および清掃業務を全国展開する当社グループの中核となるセグメントです。

当第1四半期連結累計期間においては、新規事業所1件を開業いたしました。外資系ブランドを中心に積極的なマーケット参入による大型ホテルの開業は引き続いており、新規受注に向け積極的な営業活動をおこなっております。前期より注力中の病院案件のお引き合いも増えております。また、既存のお客様との契約更改時には人件費等のコストアップ要因に対してご理解をいただきながら引き続き適正な利益の確保に取り組んでおります。

前期よりSaaS導入を開始したシフト業務・労務関係業務プロセスや業績管理システムの再構築など、職場環境や業務フローの改善による事業基盤強化によって収益力を高める取り組みも順調に進捗しております。

重要KPIであるパート・アルバイトの純増人数も第1四半期連結累計期間において447名と、前期実績に対して遜色ない水準で推移しており、引き続きリテンションを支えるコミュニケーションや教育・人材開発及び労働安全衛生に配慮したマネジメントに注力しております。

この結果、売上高は2,581百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は216百万円（前年同期比2.6%増）と増収増益を達成しました。

② フードサービス事業

当事業は、従業員食堂・ホテル内レストラン・高齢者施設等給食運営の受託を全国で展開するセグメントです。

当第1四半期連結累計期間においては、新規事業所3件を開業いたしました。また、現時点で新規受託を見込む事業所が5件あり、足元の受注状況は堅調に推移しています。2025年10月に終了した大阪・関西万博の特需剥落要因も僅少にとどまっておりますが、当事業の主要顧客である一部の朝食特化型ホテルでの海外団体客の落ち込みの影響は今後注視が必要であります。

また、前期に引き続き人件費や食材価格の高騰や、安全安心な衛生管理体制の維持強化に対応すべく、契約更改時にはお客様からのご理解をいただきながら適正な利益の確保に取り組んでおります。

この結果、売上高は1,296百万円（前年同期比18.3%増）、営業利益は36百万円（前年同期比13.3%増）と増収増益を達成しました。

③空間プロデュース事業

当事業は、映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・施工・販売・管理・メンテナンスに加え、BGM及び香りまで提供する空間プロデュース事業としてセグメントを構成いたします。

当第1四半期連結累計期間において、東洋メディアリンクスは引き続き金融機関向けのITV（監視カメラ／Industrial TV）及び周辺装置・業務放送設備・モニター等の新規、更新需要が堅調となり、売上・利益のピークを迎える第2四半期に向けて、営業・販促活動においても手応えを感じることができました。

同じくMood Media Japanは、前期に続きMood Mediaヘッドクォーターとの連携案件や、新規開拓や顧客紹介案件を取り込みながら好調な滑り出しとなっています。

音響特機は、一部の輸入ブランドの変更に伴う既存顧客の剥落を要因に減収減益となりましたが、東洋メディアリンクスとの連携強化を図り、新たな輸入ブランド商品の拡販に注力中です。

この結果、売上高は1,215百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益は41百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対し、301百万円の増加により6,618百万円となりました。その主因は、現金及び預金231百万円の増加、受取手形、売掛金及び契約資産59百万円の増加などによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に対し、261百万円の増加により3,488百万円となりました。その主因は、短期借入金250百万円の増加、未払金127百万円の増加、その他の流動負債197百万円の増加、未払法人税等155百万円の減少、賞与引当金126百万円の減少などによるものであります。

純資産は、39百万円増加し、3,129百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当期の連結業績予想は、2025年11月11日に公表したものから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実績の業績はこれと異なる可能性があります。）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,138,856	1,370,287
受取手形、売掛金及び契約資産	2,140,208	2,199,452
有価証券	49,879	49,951
商品及び製品	388,876	440,147
仕掛品	19,989	19,807
原材料及び貯蔵品	20,278	34,657
短期貸付金	20,163	20,164
未収入金	6,320	52,115
その他	131,540	122,854
貸倒引当金	△1,697	△1,909
流動資産合計	3,914,416	4,307,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	990,737	990,737
減価償却累計額	△634,480	△641,833
建物及び構築物（純額）	356,256	348,904
土地	951,628	951,628
その他	268,561	276,039
減価償却累計額	△203,101	△209,550
その他（純額）	65,460	66,488
有形固定資産合計	1,373,346	1,367,021
無形固定資産		
のれん	6,921	5,324
その他	55,667	54,033
無形固定資産合計	62,589	59,357
投資その他の資産		
投資有価証券	612,760	630,504
繰延税金資産	201,836	110,616
その他	155,941	147,270
貸倒引当金	△3,545	△3,545
投資その他の資産合計	966,992	884,845
固定資産合計	2,402,928	2,311,224
資産合計	6,317,345	6,618,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,909	562,475
短期借入金	300,000	550,000
リース債務	7,961	7,985
未払金	898,777	1,026,255
未払消費税等	321,859	310,685
未払法人税等	172,357	16,856
賞与引当金	169,129	42,753
役員賞与引当金	14,761	2,100
その他	388,459	586,279
流動負債合計	2,843,214	3,105,391
固定負債		
リース債務	6,098	4,093
繰延税金負債	8,595	11,837
退職給付に係る負債	344,604	341,738
株式給付引当金	5,785	7,281
長期末払金	10,567	9,967
資産除去債務	8,164	8,180
その他	500	500
固定負債合計	384,316	383,599
負債合計	3,227,531	3,488,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	272,046	257,975
利益剰余金	2,384,491	2,409,778
自己株式	△177,527	△163,431
株主資本合計	2,872,572	2,897,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217,241	231,878
その他の包括利益累計額合計	217,241	231,878
純資産合計	3,089,813	3,129,763
負債純資産合計	6,317,345	6,618,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	4,936,138	5,090,285
売上原価	4,098,277	4,255,256
売上総利益	837,861	835,028
販売費及び一般管理費	604,808	602,911
営業利益	233,052	232,117
営業外収益		
受取利息	436	214
受取配当金	6,500	9,125
受取賃貸料	1,744	1,800
その他	8,125	4,544
営業外収益合計	16,806	15,684
営業外費用		
支払利息	2,482	2,218
支払手数料	336	—
為替差損	2,374	2,623
雑損失	129	3,264
営業外費用合計	5,323	8,106
経常利益	244,536	239,695
特別利益		
投資有価証券売却益	—	41,374
特別利益合計	—	41,374
特別損失		
固定資産除売却損	13	19
特別損失合計	13	19
税金等調整前四半期純利益	244,522	281,050
法人税、住民税及び事業税	11,797	17,236
法人税等調整額	81,269	86,691
法人税等合計	93,066	103,927
四半期純利益	151,456	177,123
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,456	177,123

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	151,456	177,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,469	14,636
その他の包括利益合計	20,469	14,636
四半期包括利益	171,925	191,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,925	191,759
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	2,408,350	1,095,514	1,429,558	4,933,423	2,715	4,936,138	—	4,936,138
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	4,986	280	2,617	7,883	77,505	85,388	△85,388	—
計	2,413,336	1,095,795	1,432,175	4,941,306	80,220	5,021,527	△85,388	4,936,138
セグメント利益	211,077	32,164	52,516	295,758	10,488	306,246	△73,194	233,052

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、全社利益及びセグメント間取引消去等によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	2,578,929	1,295,332	1,213,413	5,087,675	2,609	5,090,285	—	5,090,285
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	2,236	926	2,557	5,719	83,005	88,724	△88,724	—
計	2,581,165	1,296,259	1,215,970	5,093,395	85,614	5,179,009	△88,724	5,090,285
セグメント利益	216,595	36,451	41,312	294,359	4,842	299,202	△67,085	232,117

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、全社利益及びセグメント間取引消去等によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	16,760千円	17,421千円
のれんの償却額	1,597	1,597

(重要な後発事象)

該当事項はありません。